

学校だより

# くすのき



【学校教育目標】

主体的に学び、人とのかかわりを  
大切にする子どもの育成



令和5年度 4月号

由布市立挾間小学校長 石井 知由美

= ごあいさつ =

この度の異動で、東庄内小学校から参りました石井知由美と申します。中学校の保健  
体育の教員、特別支援学校の教員、教育行政を経て、小学校、中学校そして小学校2校  
目の勤務となります。伝統ある挾間小学校の校長として赴任させていただき、身の引き締  
まる思いです。挾間小のシンボルは楠とお聞きしました。私は出身が玖珠ですので、「くす」  
つながりのご縁を感じております。伝統を継承し発展させるため、少しでも役に立てるよう誠心誠意  
努力して参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



## 14名の教職員が着任しました

4月の異動で、14名の教職員が着任  
しました。総勢48名、一丸となって632名の  
児童の指導に当たります。ご協力よろしく  
お願いいたします。



- |      |                     |              |                  |
|------|---------------------|--------------|------------------|
| 校 長  | 石井知由美 (東庄内小から)      | 臨時講師         | 朝來野慶史 (湯布院小から)   |
| 教 頭  | 一木 高志 (川西小から)       | 臨時講師         | 井上佳代子 (阿南小から)    |
| 教 務  | 團塚 秀樹 (佐伯・渡町台小から)   | 臨時講師         | 角 智恵美 (大分・豊府小から) |
| 教 諭  | 清水 聡 (湯布院小から)       | 臨時講師         | 佐藤 智恵 (由布川小から)   |
| 教 諭  | 首藤 政秀 (湯布院小から)      | 支 援 員        | 杉崎 隼人 (西庄内小から)   |
| 養護教諭 | 坂本 雅子 (谷小から)        | スクールサポートスタッフ | 清水 結衣 (東西庄内小から)  |
| 教 諭  | 安藤 壮志 (別府・石垣小から、新任) |              |                  |
| 教 諭  | 下田 夢花 (新任)          |              |                  |

## 始業式・入学式

始業式で児童に、学校が楽しくなり、挾間小を今以上に良い学校にする  
ための『合言葉』を話しました。(校内のいたるところに掲示しています。)

できることはじぶんからする

自分ができることは、先生や家の人から言われてする  
のではなく、自分からどんどんしましょう。

できそうなことはがんばる

今までやったことのないこと、やったけどあまりうまくいかなかったことなど、  
何でも挑戦しましょう! 失敗してもいいんです。挑戦することが大事です。少しずつでも、できるようになり  
ます!! 「え〜」「おり〜」「めんどくさ〜い」など、マイナス言葉を使わないことです。



|| はさまつこのあいことば ||  
できることは  
じぶんからする  
できそうなことは  
がんばる  
できないことは  
みんなでする

## 5月行事

日	曜	集会	行事
1	月		個別面談
2	火		個別面談(予備日)
3	水		憲法記念日
4	木		みどりの日
5	金		こどもの日
6	土		
7	日		
8	月		委員会活動
9	火	平和	尿検査
10	水		尿検査
11	木	ゆーぶー	内科検診(1年、2年1・2組)
12	金		市教研統一研【短縮4校時】
13	土		
14	日		
15	月		交通安全教室(1年)
16	火	触れあい	
17	水		交通安全教室(1年)
18	木	ゆーぶー	避難訓練(不審者)
19	金		心臓検診1年
20	土		
21	日		
22	月		交通安全教室(3年)
23	火	体育	
24	水		(尿検査2次)
25	木	ゆーぶー	内科検診(2年3・4組、3年)
26	金		オープンスクール
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		民生委員・児童委員学校訪問
31	水		

### 【生活目標】

友だちの呼び方を考えよう

### 【6月の主な行事予定】

7日(水)～8日(木) 香々地宿泊体験(5年)

13日(火) 市教研統一研

15日(木) 歯科検診

20日(火) 歯科検診

22日(木) 歯科検診

29日(木) 歯科検診



### できないことはみんなです

「わからないから仕方を教えて。」「一人じゃ難しいので手伝って。」「嫌だからやめて。」など、自分の気持ちを伝えます。また、他の人は友達の気持ちを聴きます。コミュニケーションです。これができれば、きっと楽しい学級・学校になります。友達と協力して取り組めるはさまっ子になってもらいたいです。入学式でも新入生、保護者、地域の方それぞれに同様の話をしました。

大人である私たちも同じです。特に、「できないことはみんなです」は、悩みや心配事などは一人で悩まず、保護者同士のつながりの中で、また、担任や学校へ相談をしてください。コミュニケーションを取り合い、家庭と学校が一つになって『チーム挟間小』として、子どもたちを育てていきましょう。

さらに、『チーム挟間小』にはなくてはならない地域の方。温かな見守り、時には叱咤激励をいただき、チーム挟間小の一員として本校の教育にお力添えをお願いいたします。

※個人情報(写真)掲載の確認が取れてから、子どもたちの写真は掲載します。



## ちょっといいはなし



お迎え遠足での出来事です。自由に遊んでよい時間に、2年生のMさんが私のところにやってきました。

「校長先生って大変でしょ?」「なんで?」「だって、全校のみんなのことも、先生達のことも、いっぱいいろんなことを考えないといけないから。」「どうして、そう思ったの?」「幼稚園の園長先生がそう言ってたから、校長先生もそうかなと思って…」「私のことを心配してくれてありがとう。」

私は2つのことに感心しました。

- ① 相手の大変さを思いやっていること
  - ② 自分の持っている知識を別のことに活用していること
- 若干2年生でこれができているってすごいですよね。はさまっ子ってすごいゾォ。これからも期待大です。

由布市立挟間小学校



カラー版はHPで!